

東京外国語大学文書館 第6回企画展

東京外国語大学 の歴代学長 ～歴代学長とその時代～



(写真)原卓也学長(1992年入学式)

開催期間:2013年8月～10月下旬頃

於:附属図書館1階ギャラリー

～歴代学長の Profile～

学長写真

初代 澤田節藏 Sawada Setsuzo (任期 1949-1955 年)

「わが国の国際的地位向上のために必要な国際的人材が欠如している」

『澤田節藏回想録 外交官の生涯』(257 頁)

第2代 岩崎民平 Iwasaki Tamihei (任期：1955-1961 年)

「気宇も大きく持ち、学問にまっしぐらに専念するほどの青年の意気を示してほしい」

『外国語大学新聞』(学長就任の辞、1955 年 12 月 16 日)

第3代 小川芳男 Ogawa Yoshio (任期: 1961-1969 年)

「一カ月に一度は話し合いをしたい。君たちが百いったなかで、一つぐらい実現できるかもしれないし、全然できないかもしれない。」

『外大新聞』(1962 年(昭和 37)3 月 23 日)

第4代 鐘ヶ江信光 Kanegae Nobumitsu (任期 1971-1975 年、1969 年-学長事務取扱)

「私はせめて「前人芽を発せしめて後人に託す」ようにあらしめたいと思います。」

『東外大ニュース No.6』(学長就任にあたって 1971 年)

第5代 坂本是忠 Sakamoto Koretada (1975-1981 年)

「最近の急激な国際関係の進展は、(…略…) その言語が話される地域の歴史・文化・政治・経済等の知識の統合の上に立つ多くの地域専門家を要求している。」

『東外大ニュース』No.24(今後の外語大、1976 年)

第6代 鈴木幸壽 Suzuki Yukitoshi (任期：1981-1985 年)

「国際化時代を迎えて、本学に課せられた国家的社会的要請がますます深まりつつある」

『東外大ニュース No.44』(学長就任にあたって 1982 年)

第7代 長幸男 Cho Yukio (任期：1985-1989 年)

「“学ぶ”とは、(…略…)、事物の実相を窮めようとする知識 knowledge への挑戦・冒険であり、学問的探求である。」

『東外大ニュース』No.59 (新入生諸君へ、1986 年)

第8代 原卓也 Hara Takuya (任期：1989-1995 年)

「やたらだ広い学長室よりも、(…略…) 6 階の研究室のほうが、やはり気分的にじっくりくるようだ。」

『東外大ニュース』No.72 (学長就任にあたって 1971 年)

第9代 中嶋嶺雄 Nakajima Mineo(任期：1995-2001 年)

「大学は、今日の時代の転換をいかに受けとめ、それにいかに能動的に対応してゆくのか、という問いかけなくして、二十一世紀の大学像は構想し得ないでしょう。」

『東外大ニュース』No.90 (新学長として一東外大の課題、1995 年)

第10代 池端雪浦 Ikehata Setsuho(任期：2001-2007 年)

「私が今後推進したいと考えている大学改革の方向は…(略)…留学生の派遣と受け入れをいっそう盛んにして、本学を異文化交流の場としてますます活性化してゆくこと、です。」

『東外大ニュース』No.108 (新学長挨拶、2001 年)

第11代 亀山郁夫 Kameyama Ikuo(任期：2007-2013 年)

「人文学の輝ける only one にとどまらず、世界知の輝ける殿堂をめざして(…略…)その存在感を世界に向かって広くアピールしてゆくことを約束したいと思います。」

『概要』(世界知の輝ける殿堂をめざして 2008 年)

第12代 立石博高 Tateishi Hirotaka (就任: 2013 年 4 月 1 日)

「Think and Act Globally and Locally! 地球社会と地域社会に根ざして、考え行動しよう!

21 世紀のグローバル化時代のなかで特色ある人文・社会科学系の大学として、「世界知の蓄積 accumulation of world knowledge」と「地球社会との協働 interaction with the global society」をめざして、着実に歩を進めています。」

(本学 HP 学長メッセージより転載)



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

